

北海道立オホーツク流氷公園（紋別市）

<施設全景>



<位置図>



地図の出典元：国土地理院

<施設概要>

北海道立オホーツク流氷公園は、「試みて進化する広域公園」をコンセプトに、環境共生型の公園として、住民参加による緑豊かな手作り公園を目指しています。

<<みどころなど>>

紋別市街地から空港に向かって国道を走ると、左手の海岸側に見えてくるのが「オホーツク流氷公園」です。約3km続く細長い空間に、屋内遊具を備えた「あおぞら交流館」を中心に、花やみどりを気軽に楽しめる「楽しみの場所」、遊びやものづくり体験のできる「にぎわいと参加の場所」、広大な草原の中で軽スポーツや散策を楽しめる「のんびりする場所」、海浜植物や流氷など、オホーツク海の四季の風景を楽しむ「ながめる場所」の4つのブロックに区分され、それぞれ異なった体験のできる公園となっています。

<諸元>

- ・面積：63.2ha（道59.3ha、市3.9ha）
- 道：あおぞら交流館及びまきばのP G場等
- 市：オホーツクラベンダー畑及び花のサロン

<見学可能人数>

1回あたり40名

<見学箇所>

- ・あおぞら交流館等の各施設

<アクセス>

- ・オホーツク紋別空港より車で約10分

<見学所要時間>

- ・約1時間

<その他施設>

- ・駐車場：大型バス駐車可能
- ・トイレ：各施設及び屋外にあり

<周辺の観光情報>

- ・流氷観光でお馴染みの流氷砕氷船ガリンコ号Ⅱ
 - ・道立オホーツク流氷科学センター（道の駅）
 - ・氷海展望塔オホーツクタワー
- 等の施設があるガリヤ地区は近距離にあります。

<注意事項>

- ・小学校低学年以下の方は保護者同伴
- ・一部、徒歩での見学となるため動きやすい服装、歩きやすい服装でお越しください
- ・飲酒している場合、説明員の指示に従わない場合は、見学をお断りすることがあります。

